

立命館経済学

第48巻 第5号

1999年12月

故上野俊樹教授追悼号

内 容

| | |
|--|-----|
| 故上野俊樹教授追悼号の刊行にさいして……………山 田 彌 | 1 |
| イデオロギーの科学と科学のイデオロギー化……………西 原 誠 司 | 3 |
| ——上野俊樹先生の学問的精神と経済学史研究—— | |
| 大規模銀行合併と Too-big-to-fail 問題……………高 田 太久吉 | 22 |
| ザクセン州の産業再編とグローバリゼーション下の ドイツ資本主義……………金 谷 義 弘 | 37 |
| インドネシアにおけるベンツと クライスラーの事業統合……………野 村 俊 郎 | 60 |
| バブル経済の崩壊と90年代不況・異常円高……………島 津 秀 典 | 77 |
| ——資本主義の「国際化」と「国民経済」との対立・矛盾の観点から—— | |
| 社会保障制度改革とこれからの高齢者……………丹 下 晴 喜 | 95 |
| ワルラス経済学の方法論批判序説……………杉 野 罔 明 | 115 |
| ——経済学体系とその方法に対する批判のための予備的考察—— | |
| 現代経済と情報社会……………高 木 彰 | 129 |
| ヘーゲル論理学・本質論「本質」と「資本」の方法……………角 田 修 一 | 148 |
| ——『経済学批判要綱』の方法—— | |
| 米国の軍民統合戦略と経済覇権の回復……………藤 岡 惇 | 170 |
| 統計表中之江蘇電業……………金 丸 裕 一 | 185 |
| J. London, <i>The Scarlet Plague</i> ………………辻 井 榮 滋 | 202 |
| ——人類終焉の物語—— | |
| 「消費社会」における生活の「豊かさ」……………森 脇 丈 子 | 227 |
| ——生活の「豊かさ」の基礎的経済条件について—— | |
| 故上野俊樹教授を偲ぶ | |
| 僚友、上野俊樹さんを偲ぶ……………戸木田 嘉 久 | 247 |
| 上野俊樹さんを偲んで……………三 好 正 巳 | 251 |
| 上野俊樹教授略歴・主要著作目録…………… | 255 |

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第48巻・第3号

| | |
|--|-----------|
| 芦田 文夫教授退任記念論文集の刊行にさいして…………… | 山 田 彌 |
| 変貌する極東ロシア研究序論…………… | 望 月 喜 市 |
| ロシアにおける体制転換と資本・賃労働関係の形成…………… | 小 野 一 郎 |
| 今日の市場問題と市場理論…………… | 三 好 正 巳 |
| 「社会主義」の概念規定に関する理論的研究…………… | 杉 野 隼 明 |
| 国際経済論研究の諸課題…………… | 岩 田 勝 雄 |
| Globalization and Multilateral Agreement on Investment (MAI)…………… | |
| ハンガリーは民営化のなかでどのような所有構造に達したのか …… | 山 浦 雄 三 |
| ロシアの市場経済化と経済主体の取引行動…………… | 田 中 宏 |
| 資本の過多とその価値実体…………… | 溝 端 佐 登 史 |
| ——利子生み資本論の段階における資本の過多把握の一視点—— | 山 本 幹 夫 |
| 株式相互持ち合いの「解消」について…………… | 鈴 木 健 |
| ボリス・ブルツクス…………… | 森 岡 真 史 |
| ——活動と著作の概観—— | |
| 芦田 文夫教授略歴・主要著作目録 | |

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第48巻・第4号

| | |
|--|-----------|
| 坂野 光俊教授退任記念論文集の刊行にさいして…………… | 山 田 彌 |
| 財政危機と財政改革…………… | 鶴 田 廣 巳 |
| 産業のグローバル化と公共事業…………… | 東 郷 久 |
| EU 構造基金とスウェーデンのリージョン…………… | 藤 岡 純 一 |
| 災害の政治経済学の展開と課題…………… | 宮 入 興 一 |
| 現代の社会保障と規範論アプローチ…………… | 山 田 誠 |
| ——社会契約主義, 国家中心主義と効用主義—— | |
| ニューヨーク市の構造転換と分極化…………… | 横 田 茂 |
| 国際会計基準の導入と税・財政政策の課題…………… | 飯 野 公 央 |
| 国防削減下におけるアメリカ軍事産業の再編過程…………… | 河 音 琢 郎 |
| 世界開発ネットワークと大学…………… | 堀 田 牧 太 郎 |
| 少子高齢化が地方財政に与える長期効果に関する分析…………… | 本 田 豊 |
| ——岐阜県大垣市を事例として—— | |
| The Impact of Capital Tax Competition on Public Input Provision in the Presence of Intersectoral Substitutability and Interindustry Factor Mobility…………… | |
| 坂野 光俊教授略歴・主要著作目録 | 松 本 睦 |

発行所 立命館大学経済学会